

令和5年度 第3回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和5年12月12日（火） 13時30分から15時30分まで
2. 開催場所 浜松市立浜北北部中学校 特別活動室
3. 出席委員 山本忠雄 池谷真也 和田安彦 矢野陵子 鈴木貴子
室内恵理香（学校支援CD）
4. 欠席委員 なし
5. オブザーバー 細川 恭由（中瀬協働センター）
6. 学校支援CD（委員外） 岡本奈緒（兼CSディレクター）
7. 学 校 影山ちか（校長） 松島 歩（教頭） 石島正巳（CS担当教諭）
加藤駿一（情報担当教諭）
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 CSディレクター 岡本奈緒
10. 議長の選出

司会より議長を会長にお願いしたい旨を伝え、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

11. 協議事項

- (1) 子供たちの様子
- (2) 校内のICT活用状況について

12. 会議記録

司会の教頭より、委員総数6名のうち全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 子供たちの様子

山本：合唱コンクール本番を鑑賞した。各学級の持ち味や個性がそれぞれ見事に表れていた。曲の選定から表現など、発表するにあたり担任の先生も苦労されたのではないかと思う。壇上に立つ姿も工夫がなされており、学級みんなで一体感を作ろうという意気込みも伝わってきて、とても頼もしかった。体育祭では浜北北部のエネルギーを感じた。普段の学校生活や部活動で培われた力や身体を思いきり出し切り、保護者や地域の人に頑張る姿を見てもらうんだという生徒の気迫が、どの競技からも伝わってきた。中学の体育祭は大切な行事であることを認識した。

池谷：現職の頃、合唱コンクールでは鳥肌が立ち、涙が出たことを思い出した。会長の感想を聞き、浜北北部でもそういった立派な行事であったのだろうと想像できる。

和田：学校行事が通常通りに行える環境になってきて、子供たちにとって普段の生活よりも節目に大きな行事があることは思い出にもなり、成長にもつながるだろう。今後もこの環境で、良い成長につながるような大会や行事になれば、成長だけでなくクラスの団結にもつながるのではないか。

矢野：合唱コンクール前日に急遽やり方を変えます・・・というさくら連絡網が入ったが、コロナとインフルが増えていた中で、努力と根性で実行しようという先生方の思いが伝わってきた。「とにかくやろう！」という方向で動いてくれたこと、その気持ちが保護者にも伝わるといいなと思った。きっと子供たちもそんな先生方を見てこの行事を大事にしようと思っただろう。

鈴木：確かに子供たちや保護者から残念な声もあったが、何より実施できたことがありがたかった。急激に人数が減ったクラス、指揮者がいない、伴奏者がいない中でも頑張って歌っていた姿が素晴らしかった。実行していただいた学校側に感謝したい。体育祭では子供たちの生き生きとした姿を見て、いろいろな制限も無くこれが本来の体育祭だと感じた。

室内：毎日ブログを拝見していて、学校の様子を楽しみにしている。

鈴木：先日の挨拶運動で感じたことだが、コロナを境に子どもたちの積極的な挨拶が減ったと感じる。2回目の挨拶運動は、少し元気に返事が返ってくるように感じた。こちらの大人側が頑張れば子どもたちの反応も良くなるのだと実感できた。

(2) 校内のICT活用状況について

情報担当加藤教諭より、浜松市のICT活用について、校内のICT活用状況について説明
その後、委員一人一台のタブレットを使用し操作体験

体験終了後、委員からは以下のような質問があった。

鈴木：子供で使えなくて困る子はいないのか。

加藤：あまりいない。小学校から使っているので驚くほどとても慣れている。

和田：子供たちへの宿題やテキストは先生たちが独自で作成しているのか。

加藤：独自で作成している。

室内：先生方によって得意不得意で差があるとクラスによって差もでてしまうのではないのか。

教頭：多少の差はある。

矢野：各家庭のネット環境で困る子はいないのか。

加藤：環境が悪くて困るという話は聞かない。入力だけならオフラインでもできる。

矢野：メリットはよく分かったが、先生方の中で気を付けるべき課題やデメリットの部分はないのか。

加藤：市内でパスワードでのトラブルがあったことは承知している。ゲームもできてしまうのでモラル的なことは指導が必要。また、書いて覚えることも大切なので使い分けが必要である。

池谷：年配の先生方についてはいけているのか。

校長：体育では技能テストを録画し、評価の対象とした。

鈴木：紛失や破損についてはどうか。

加藤：紛失はないが、持ち帰るようになってから破損が数件発生している。

山本：所有者は学校であり、生徒には貸与であればどこかで制限があるのか。いずれ支給になるのか。

校長：おそらく義務教育での支給はないだろう。

山本：教科書とノートで身につけてきた自分には馴染めないが、この時代やらざるを得ないだろう。

教頭より、次回第4回の運営協議会のスケジュールを確認し、会を閉じた。